



北海道に向く新しい西洋なし

西洋なしは冷涼な気候を好み、北海道での栽培が増えています。そこで、国内外12品種の特性を調査し、有望な3品種を選定しました。

収穫時

→

食べ頃



マルゲリット・マリーラ

- 収穫期 9月中旬
- 果実が大きい(300～400g)
- 糖度12～13%
- 風味、食味良い。

オーロラ

- 収穫期 9月中旬
- 糖度高い(14～15%)
- 肉質、風味良く、食味はかなり良い。
- 収量が少ない。

ゼネラル・レクラーク

- 収穫期 10月上中旬
- 果実が大きい(300～400g)
- 糖度高い(14%程度)
- ジューシーで食味良い。

品種名	優 点	欠 点	概 評
マルゲリット・マリーラ	大果。風味、食味良い。	果肉やや粗い。 落果しやすい。	大果で品質良好。
オーロラ	糖度非常に高く、肉質、 風味優れる。	収量性が低い。	食味優れ、有望な品種。
ゼネラル・レクラーク	大果。多汁で風味、 食味良い。	渋みを感じることもある。 落果しやすい。	大果で品質良好。

中央農業試験場 作物研究部・果樹科

北海道夕張郡長沼町東6線北15号

電話 0123-89-2001 seika@agri.pref.hokkaido.jp

<http://www.agri.pref.hokkaido.jp/chuo/kaihatsu/kaju/>